

所属：王子製紙

ポジション：FW

生年月日：1948年6月6日

出生地：ロシア（当時・ソ連）

【プロフィール】65-66シーズンから78-79シーズンまでソ連リーグのスパルタク・モスクワでプレーし、3回の優勝に貢献した。また73年と76年のソビエト選手権で最優秀選手に輝いた。ソ連代表としてもオリンピックに2回出場し（72年札幌、76年インスブルック）、2度とも金メダルを獲得。8試合7ゴール、4アシスト、11ポイントをマークし、インスブルック大会では10ゴールを決め得点王となった。世界選手権にも8回（70、71、72、73、74、75、76、77年）出場し、64試合33ゴール、40アシスト、73ポイントをマークした。79-80シーズンからは4シーズンに渡り、王子製紙でプレー。日本リーグ3回、全日本選手権2回の優勝に貢献した。引退後は、スパルタク・モスクワやジュニア代表のコーチなどを務めた。

【レビュー】激しいボディチェックが当たり前の時代。とにかくタフで、当たりに強いプレーヤーでした。彼と一緒にラインを組みましたが、周りが見えていて、うまく使ってもらいました。ゴール前のポジションに良いパスが来ることは分かっていたから、前を空けておいて飛び込んでシュートをするなど、スペースをつくること、ポジション取りを考えてプレーをしていました。お互いに信頼感を持ってプレーをしていました。ソ連と高いレベルは分かっていたので、足を引っ張らないように、良いパスをもらえるので、ものにしようとプレーをしていました。

【日本リーグアワード】

最優秀選手：第17回

ベスト6：第16回、第17回

得点王：第14回

アシスト王：第16回、第17回

ポイント王：第14回、第17回

特別賞：第14回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
79-80	第14回	6	3回戦制	王子製紙	1位	15	17	14	31	7
80-81	第15回	6	4回戦制	王子製紙	2位	20	16	23	39	9
81-82	第16回	6	6回戦制	王子製紙	1位	30	25	54	79	18
82-83	第17回	6	6回戦制	王子製紙	1位	30	20	49	69	17
計						95	78	140	218	51

所属：王子製紙

ポジション：FW

生年月日：1949年10月13日

出生地：ロシア（当時・ソ連）

【プロフィール】ソ連の国内リーグ3部のチームからスタートし、71-72シーズンから12シーズンに渡りソ連トップリーグのトラクル・チェリャビンスクでプレー。83-84シーズンには王子製紙でプレーした。諸事情により、来日が遅れ日本リーグに開幕日に成田空港に着いたほどだった。アシスト28は4位、ポイント44は同僚のベロウソフに次ぐチーム2位の成績で、優勝に貢献した。

【レビュー】来日した当日の試合に出ましたよ。空港から即、チームに合流して「今度の新しい選手」と紹介され、試合会場に向かいました。スケート靴も慣らしも、柔らかくすることもなく、新品のままで履いていました。防具も梱包を解いた状態でつけていましたから、違和感はあったはずですが、来日したその日、頭のとっぺんから足の先まで全部真新しい状態でのプレー。さすがに「大丈夫なの？」といった感じで、何も動けませんでした。バックキャリアで走り込んでくるスピード感はあまりなかったですが、体の使い方や相手を置いてのパスなど、シュートよりパスが良かったプレーヤーです。後から聞いた話ですが、帰国の際の一言が「センターをやったことはなかった」とのこと。ソ連のナショナルBチームでもウイングだったとか。スピードで振り切るタイプではなく、むしろセンタープレーヤーでしたから、センターが初めてだとは思いませんでしたが、レベルが高いと思いましたね。ちなみに、ソ連のBチームは「CCCP」のユニホームを着ることはできなかったそうです。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
83-84	第18回	6	6回戦制	王子製紙	1位	30	16	28	44	2
計						30	16	28	44	2

所属：王子製紙

ポジション：FW

生年月日：1940年5月6日

出生地：ロシア（当時・ソ連）

【プロフィール】57-58シーズンからソ連のトップリーグのスパルタク・モスクワでプレー。71-72シーズンの最初の引退までのシーズンでは、チームを3回の優勝に導くとともに、66-67、67-68シーズンでは得点王、67-68シーズンではポイント王も獲得した。またソ連代表としてオリンピックで2個（64年インスブルックと68年グルノーブル）、世界選手権で7個（63、65、66、67、69、70、71年）の金メダルを獲得。63年と66年の大会では得点王、65年の大会ではベストFWに選ばれた。オリンピック通算14試合13ゴール、9アシスト、22ポイント、世界選手権通算63試合51ゴール、23アシスト、74ポイントをマーク。69、70、71年の大会ではキャプテンを務めた。74-75シーズンにスパルタク・モスクワで現役復帰し、75-76シーズンから3シーズンに渡り王子製紙でプレー。第11回リーグの十條3回戦で1試合6得点、1試合7ポイント（ともに日本リーグ記録）をマーク。ソ連に帰国後の78-79シーズンにスパルタク・モスクワでプレーしソ連史上初の400ゴールを達成、このシーズンをもって現役引退。2007年にIIHF殿堂入り。

【レビュー】それまでチームには外国人選手がいなくて、Jリーグのジーコみたいな存在でしたね。年齢的にも大ベテランで、ソ連では引退間近という感じでした。しかし、レベルは非常に高く、ラインを組むことはなかったですが、キープ力があり、一番感心したのはスケーティングです。パックをコントロールして持ち上がったとき、上体を動かすのではなく、相手からすると向かってくるだけでフェイントがかかった状態みたいになっていました。彼がパックをキープすると、パスを出すところを探し、長時間キープしていました。周りを見て使うタイプで、視野の広いプレーヤーでした。来日当初、相手チームはもちろん、王子の選手も彼のプレーを読み切れず、付いていけないほどでした。とにかくスケーティングとハンドリングに長けたプレーヤーでした。プレー以外では学者肌で、人格者でした。勉強熱心で日本文化に溶け込もうという姿勢が強かったです。漢字にも興味を示し、音読みや訓読みを理解しようとチームメートに聞いていたほどで、遠征の際、彼の隣に座るのは嫌だという選手がいたほどです（笑）。

【日本リーグアワード】

ベスト6：第11回

得点王：第11回

アシスト王：第11回

ポイント王：第11回

特別賞：第10回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
75-76	第10回	6	3回戦制	王子製紙	2位	15	20	12	32	6

76-77	第11回	6	3回戦制	王子製紙	2位	15	22	17	39	1
77-78	第12回	6	3回戦制	王子製紙	2位	15	13	11	24	3
計						45	55	40	95	10

第1版：2024年3月31日・記

所属：王子製紙

ポジション：FW

生年月日：1948年12月17日

出生地：ロシア（当時・ソ連）

【プロフィール】ソ連のトップリーグのトラクトール・チェリャビンスクなどでプレー。ソ連代表の実績は控えめで、76年のカナダカップに出場し、5試合、1アシスト、1ポイントをマークした。82-83シーズンから2シーズン、王子製紙でプレー。来日1年目の第17回日本リーグはシャドリンの陰に隠れていたが、2年目の第18回日本リーグでは、最優秀選手、ベスト6、得点王、ポイント王を獲得し、優勝に貢献した。

【レビュー】シャドリンと1シーズン（82-83シーズン）かぶっています。シャドリンと比べるとスマートで速さがありましたが、太さや幅がなく、威圧感はもう一つといった感じでした。自分でも積極的にシュートを打つし、ハンドリングの切れや抜いていくときのスピード、横に入ってからすっと抜いていく力、そしてドライブしていく。その速さやスケーティングの技術はありました。ガツンと当たるときの、ハードチェックをできるようなプレイヤーではありませんでした。キレのある、スピード感のあふれたスマートなプレイヤーと一緒にゴールを奪い、得点王も争いました。

【日本リーグアワード】

最優秀選手：第18回

ベスト6：第18回

得点王：第18回

ポイント王：第18回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
82-83	第17回	6	6回戦制	王子製紙	1位	30	26	30	56	6
83-84	第18回	6	6回戦制	王子製紙	1位	30	26	29	55	5
計						60	52	59	111	11

所属：王子製紙

ポジション：DF

生年月日：1945年1月21日

出生地：ロシア（当時・ソ連）

【プロフィール】ソ連のトップリーグのヒーミク・ボスクレセンスクヤスパルタク・モスクワでプレー。ソ連代表として76年のインスブルックオリンピックに出場し、5試合1ゴール、3アシスト、4ポイントをマークするとともに金メダルを獲得。世界選手権にも5回（71、73、74、75、76年）出場し、40試合7ゴール、9アシスト、16ポイントをマーク。4回金メダルを獲得している（71、73、74、75年）。79-80シーズンから3シーズンに渡り王子製紙でプレー。第16回日本リーグではベスト6を獲得するとともに、DFながら得点（6位）、アシスト（6位）、ポイント（7位）の3部門でベスト10入りを果たした。

【レビュー】ソ連の最初の頃はFWをやっていてその後DFになったみたいです。初めて感じたのは懐深く縦に引くプレーです。横にバックがあるからと行くと、縦に引くのです。縦に引いて呼び込んでおいて、横に動いて、そこへ置いていく。特にブルーライン上で、走っての縦ではなく、動かないでバックをブルーライン上において、大きく引いて、相手呼び込んでかわして前に出る。そして、そこからシュートやパスをします。相手が来ればそれをかわして、そこにスペースができれば自分も入っていきます。慌てて2番手が来れば、パスを出したり、空いていればシュートを放ったりしていました。縦に引いてから、リーチもあるので懐の深いプレーができましたね。自分の特性を生かすプレーでした。

【日本リーグアワード】

ベスト6：第16回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
79-80	第14回	6	3回戦制	王子製紙	1位	15	11	7	18	5
80-81	第15回	6	4回戦制	王子製紙	2位	20	8	15	23	9
81-82	第16回	6	6回戦制	王子製紙	1位	30	23	21	44	22
計						65	42	43	85	36